

旬のおいしさ販売会

6月16日(日)/アグリパークゆめすぎと (大字才羽)



今年も新じゃがまつりが開催されました。ほくほく系男爵、きたあかり、ねっとり系のとうや等、用意されていた500kgのじゃがいもがあっという間に完売しました。また、1袋200円のお楽しみでは2kgも詰め込む買い物上手な方もいらっしゃいました。地元産新じゃがいもにお客さんも大満足の様子でした。(広報特派員 坂本 吉江)

チームみんなでの的を狙おう

6月18日(火)/エコ・スポイずみ (大字木津内)



パラリンピックの正式種目にもなっているポッチャを体験してきました。チーム戦で「ふれあいクラブ」の方も一緒にプレーし、同じチームには拍手で声援を送りながら、皆さんが楽しまれ、大変盛り上がりしました。今回体験してみて、ポッチャはチームの皆さんの心がひとつに繋がるスポーツだと感じました。(広報特派員 古谷 文子、戸張 清美)



特派員レポート

広報特派員によるスナップレポートをお届け

みんなの力で地域をきれいに！

6月1日(土)/西小学校校庭 (高野台南5丁目)



西小学校校庭に設置してある2-2区防災倉庫周辺の除草作業が2-2区環境衛生部長を中心に総勢80名以上によって行われました。約1時間の作業ですっかりきれいに仕上がりと、子ども達の遊び場所も広がり、感謝されているそうです。恒例行事となり、役員以外の方も自ら進んで参加していて、素晴らしいチームワークを発揮していました。(広報特派員 畠山 千鶴子)

オリエンタルユリが見事に咲きました

6月28日(金)/大栄団地大沢宅 (大字下高野)

3月にオリエンタルユリの球根を2個購入し、鉢に植えて育て始めたところ、5月に芽が出てきて、6月26日(水)に開花しました。梅雨の季節によく目立っていて、ピンクの色合いがとても素敵です。大きな花形や蕾の状態も魅力的で、迫力満点の美しい花でした。(広報特派員 渡辺 光子)



自然環境を守る大切さを学ぶ

6月22日(土)・23日(日)/生涯学習センター (大字大島)

杉戸町と杉戸町アースデー実行委員会主催で地球環境について考える「第16回杉戸アースデー」が開催されました。「プラスチックごみのゆくえ」、「待ったなし気候変動対策」をメインテーマとして、約250名が参加され、映画上映や、小学生が描いた豊かな発想のポスター展示コーナー、環境にやさしいシャボン玉作りの体験・実演コーナーなどを通じて、改めて自然環境を守る大切さを学びました。また、来場された方々は、プラスチックごみのゆくえや地球温暖化等に関心を持っており、現状の環境問題を知ることで、未来の地球について心配されていました。これからもみんなで協力して、いつまでも美しく、魅力ある自然を守っていきましょう。(広報特派員 渡辺 光子、坂本 吉江)

5月12日(日)~6月16日(日)/公民館美化活動

利用者の力で公民館をきれいに！

町内の各公民館でサークル団体連絡協議会主催による美化活動が行われました。日頃、公民館でサークル活動をしている175名の方々に、公民館の草取りや清掃等をしていただき、見違えるほどスッキリきれいになりました。

中央公民館



初夏の強い日差しの中、汗をかいてご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

6月23日(日)/杉戸町消防団機関員運用訓練

技術の向上をめざして！

杉戸町消防団では、緊急自動車を運転する機関員等を対象に、交通法規の習得、消防ポンプの運用対策及び取扱い技術の向上を目的として、杉戸消防署屋外訓練場において訓練を実施しました。

くらし安全課



杉戸町消防団は、地域の安心・安全を守るため、日々、各種訓練を実施しています。

6月18日(火)/春の花植え

きれいな花でいっぱい！

アグリパークゆめすぎと (大字才羽) にて、人と人との繋がりを大切にした活動をしている杉戸町コミュニティづくり推進協議会の会員が集まり、花壇に花の苗を植えました。正面入口は、町内で生産されたブルーサルビアや日々草などの花で満たされました。

住民協働課



アグリパークに来ていたお客さんから「花が満開になるのを楽しみにしています」との声をいただきました。

5月8日(水)/漫画本寄贈

地域の子どものために！

町内在住の畠山千鶴子氏より、地域の子どものために役に立ちたい、貢献したいとの思いから、様々な種類の漫画本約550冊が、以前、勤務されていた西放課後児童クラブに寄贈されました。

教育総務課



西放課後児童クラブの子供たちは、たくさんの漫画本の寄贈にとても喜んでいました。

6月2日(日)/水防訓練

水害を防ぎ、杉戸町を守る！

杉戸町消防団(水防団)では、水防活動に必要な知識と水防技術の習得を図り、台風シーズンやゲリラ豪雨などの水害に備えるため、水防訓練を久喜市栗橋地先(利根川橋下流)において実施しました。

くらし安全課



当日は、利根川栗橋流域水防事務組合の水防団員など約370人が出動し、訓練はまさに真剣そのものでした。

6月16日(日)/第1回全国手打ちそば生粉打ち大会

そば打ち愛好者が腕前を競う！

福島県郡山市で開催された、第1回全国手打ちそば生粉打ち大会において、町内在住の折原茂夫氏が見事、水回し部門賞を受賞しました。同大会は、制限時間50分の中で、郡山産そば粉を使った十割そばを打つもので、総勢29人が出場し、腕前を競い合いました。

農業振興課



「水回し」とは、手打ちそばの最初の工程で、そば粉に水を加えながら、手で攪拌することで粉にまんべんなく水を含ませ、水の力でそば粉をつなぐ作業で、最も重要な工程とされています。